様式１**（現場内用）**

　年　月　日

大阪市長　様

協議者　住所

　　　　氏名

建設汚泥の自ら利用（現場内）に関する事前協議書

大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第４条第１号の規定に基づき、下記工事について資料を添えて協議します。

|  |  |
| --- | --- |
| 1．工事名 |  |
| 2．工事場所 |  |
| 3．工期 |  |
| 4．建設汚泥発生工種 |  |
| 5．建設汚泥設計発生量 |  |
| 6．再生処理の方法 |  |
| 7．処理後物の目標品質 |  |
| 8．処理後物の利用用途及び利用場所 |  |
| 協議者連絡先・担当者名 | 電話 |  | 担当者名 |  |

備考　次の資料を添付すること。

　１　発生工程フロー図

　２　利用場所の図面

様式２　**（現場内用）**　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　月　日

　　大阪市長　様

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　報告者　住所

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 氏名

建設汚泥の処理・利用に関する計画書

　大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第５条第1号に基づき、次のとおり提出します。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設汚泥発生・利用者 | 工事名 |  | 管理責任者 |  |
| 名称 |  | 担当者 |  |
| 場所 |  | 電話番号 |  |
| 工　事概　要 | 建設汚泥の発生工法： | 建設汚泥の処理方法 |  |
| 総発生量 | 　　　㎥ | 発生量/日 | ㎥/日 | 工期 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 現場内利用量 | 全量 | ㎥ | 発生時期 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 1箇所あたりの利用量 | ㎥ | 利用時期 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 掘削地盤の履歴 | 工事前の土地利用： |
| 地盤改良の有無：　無／有　　（改良工法：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| その他特筆すべき事項 |
| 建設汚泥の性状 | 泥水状・泥土状・自硬性（短期間で自然硬化するもの）　　　 |
| 掘削土の性状 | 土質名：　　　　　　　　　　　別添柱状データのとおり（※柱状土質図を添付のこと） |
| 作泥材 | 材料名：　　　　　　　 | 材料名： |
| 添加量： | 添加量 |
| 掘削時の混入物 | 混入物の有無：無／有（混入物の内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　） |
| 処理後物の安全確認 | 処理後物の分析頻度　　回 | ※土壌汚染対策法施行規則別表第３に掲げる項目に係る溶出量及び別表第４に掲げる項目に係る含有量について分析すること。※分析頻度については、1,000㎥ごとに１検体以上※分析結果が基準値を超過した場合は、利用せず、産業廃棄物として適正に処分すること。 |
| 処理後物の利用用途 | 現場内利用方法 | 処理（使用）機械等 | 利用量（㎥） | 利用箇所・位置（図面添付のこと。） |
| 1.構造物掘削埋め戻し | 無／有 |  |  |  |
| 2.道路盛土（路床） | 無／有 |  |  |  |
| 3.道路盛土（路体） | 無／有 |  |  |  |
| 4.補強土壁工盛り土材 | 無／有 |  |  |  |
| 5.その他（　　　　　　） | 無／有 |  |  |  |
| 処理後物の利用時の品質目標 | 第　　種処理土（コーン指数　　　kN/㎡） | 建設汚泥処理土再生利用基準 | ※利用前にはその都度、品質判定試験を行い、目標品質を確認すること。 |
| （※建設汚泥の処理・利用フローを記入する。） | 備考１　この計画書は2部提出すること。２　次の書類を添付すること。　①工事現場及び現場事務所の付近見取り図　②汚泥発生量の積算書　③利用箇所を示す図面　④汚泥及び処理後物の保管方法を記載した書面　⑤地盤調査資料（地質柱状図）　⑥工法の概要説明３　工事完了後、処理・利用実績を報告すること。 |

様式３**（変更：現場内用）**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　年　月　日

大阪市長　様

報告者　住所

氏名

建設汚泥の処理・利用に関する変更計画書

　大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第５条第７号に基づき次のとおり提出します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工事名 |  | 工事場所 |  |
| 注文機関名 |  | 注文担当者 |  |
| 当初計画書の受理日 |  | 担当者 |  |
| 同文書番号 |  | 連絡先 | ℡ |
| 変　更　の　内　容 |
| 変更前 | 変更後 |
| 変更の理由 |

様式４**（現場間用）**

　年　月　日

大阪市長　様

協議者住所

　　　氏名

建設汚泥の自ら利用（現場間）に関する事前協議書

大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第６条第１号に基づき、下記工事について資料を添えて協議します。

|  |  |
| --- | --- |
| 1．工事名 |  |
| 2．工事場所 |  |
| 3．工期 |  |
| 4．建設汚泥発生工種 |  |
| 5．建設汚泥設計発生量 |  |
| 6．再生処理の方法 |  |
| 7．処理後物の目標品質 |  |
| 8. 処理後物の保管場所等 | 保管場所所在地同土地所有者名保管期間 |
| 9．利用工事に関する事項 |  |
| ①工事名及び工事場所 |  |
| ②利用担当部署名 |  |
| ③連絡先 | 電話 |  | 担当者名 |  |
| ④利用用途及び利用箇所 |  |
| 協議者連絡先・担当者名 | 電話 |  | 担当者名 |  |

備考　次の資料を添付すること。

　１　発生工程フロー図

　２　利用担当部署長との再生利用に関する協議・調整結果

３　利用場所の図面

４　処理後物の搬出に関する計画書（搬出ルート、搬出記録、管理体制等を記載した文書）

様式５**（現場間用：発生工事）**

　年　月　日

大阪市長　様

報告者

注文者（発生担当部署長）

住所

氏名

発生工事元請業者

住所

氏名

建設汚泥の処理に関する計画書

大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第６条第４号及び第７条第１号に基づき、別紙のとおり提出します。

様式５　別紙

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 建設汚泥発生工事 | 工事名 |  | 管理責任者 |  |
| 名称 |  | 担当者 |  |
| 場所 |  | 電話番号 |  |
| 工　事概　要 | 建設汚泥の発生工種： | 工期 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 総発生量 | 　　　㎥ | 発生量/日 | ㎥/日 | 発生時期 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 建設汚泥の再生方法 |  |
| 掘削地盤の履歴 | 工事前の土地利用： |
| 地盤改良の有無：　無／有　　（改良工法： |
| その他特筆すべき事項 |
| 建設汚泥の性状 | 泥水状・泥土状・自硬性（短期間で自然硬化するもの）　　　 |
| 掘削土の性状 | 土質名：　　　　　　　　　　　別添柱状データのとおり（※柱状土質図を添付のこと。） |
| 作泥材 | 材料名：　　　　　　　 | 材料名： |
| 添加量： | 添加量 |
| 掘削時の混入物 | 混入物の有無：無／有（混入物の内容：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　） |
| 処理後物の安全確認 | 処理後物の分析頻度　　　 回 | ※土壌汚染対策法施行規則別表第３に掲げる項目に係る溶出量及び別表第４に掲げる項目に係る含有量について分析すること。※分析頻度については、1,000㎥ごとに１検体以上※分析結果が基準値を超過した場合は、利用せず、産業廃棄物として適正に処分すること。 |
| 処理後物の品質目標 | 第　　種処理土（コーン指数　　　kN/㎡） | 建設汚泥処理土再生利用基準 | ※搬出前には、品質判定試験を行い、目標品質を確認すること。 |
| 利用工事に関する事項 | 工事名 |  | 工事場所 |  |
| （※建設汚泥の処理・利用フローを記入） |
| 備考１　この計画書は2部提出すること。２　次の書類を添付すること。　①工事現場及び現場事務所の付近見取り図　　　②汚泥発生量の積算書　③汚泥及び処理後物の保管方法を記載した書面　④地盤調査資料（地質柱状図）　⑤工法の概要説明３　工事完了後、処理実績を報告すること。 |

様式６**（現場間用：利用工事）**

　年　月　日

大阪市長　様

報告者

注文者（利用担当部署長）

住所

氏名

利用工事元請業者

住所

氏名

建設汚泥の利用に関する計画書

大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第６条第７号及び第８条第１号に基づき、別紙のとおり提出します。

様式６　別紙

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 利用工事 | 利用担当部署名 |  | 利用担当部署担当者 |  |
| 工事名 |  | 管理責任者 |  |
| 元請業者名 |  | 担当者 |  |
| 工事場所 |  | 連絡先 |  |
| 利用工事の概要 | 引受物の品質 | 第　　 種処理土（コーン指数　　kN／㎡） |
| 総引受量 | ㎥ | 一日当り引受量 | 　㎥ | 工期 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 現場内利用量 | 全量 | ㎥ | 受入期間 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 1箇所あたりの利用量 | ㎥ | 利用期間 | 　年　月～　　　　年　月 |
| 処理後物の利用用途 | 利用用途 | 処理（使用）機械等 | 利用量（㎥） | 利用箇所・位置（図面添付のこと。） |
| 1.構造物掘削埋め戻し | 無／有 |  |  |  |
| 2.道路盛土（路床） | 無／有 |  |  |  |
| 3.道路盛土（路体） | 無／有 |  |  |  |
| 4.補強土壁工盛り土材 | 無／有 |  |  |  |
| 5.その他（　　　　　　） | 無／有 |  |  |  |
| 建設汚泥発生工事の概要 | 発生担当部署名 |  | 発生担当部署担当者 |  |
| 工事名 |  | 管理責任者 |  |
| 元請業者名 |  | 担当者 |  |
| 工事場所 |  | 電話番号 |  |
| （処理後物の受入から利用までの工程を記入） |
| 備考1 利用前には所定の品質であることを確認すること。2 この計画書は2部提出すること。3 次の書類を添付すること。　①工事現場及び現場事務所の付近見取り図　②利用箇所を示す図面　③処理後物の受入方法、記録に関する書面４ 工事完了後、利用実績を報告すること。 |

様式７**（変更：現場間用（発生工事））**

　年　月　日

大阪市長　様

報告者　注文者（発生担当部署長）

住所

氏名

発生工事元請業者

住所

氏名

建設汚泥の処理に関する変更計画書

　大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第６条第１０号及び第７条第６号に基づき次のとおり提出します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工事名 |  | 工事場所 |  |
| 注文機関名 |  | 注文担当者 |  |
| 連絡先 | ℡ |
| 当初計画書の受理日 |  | 担当者 |  |
| 同文書番号 |  | 連絡先 | ℡ |
| 変　更　の　内　容 |
| 変更前 | 変更後 |
| 変更の理由 |

様式８**（変更：現場間用（利用工事））**

　年　月　日

大阪市長　様

報告者　注文者（利用担当部署長）

住所

氏名

利用工事元請業者

住所

氏名

建設汚泥の利用に関する変更計画書

　大阪市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第６条第１０号及び第８条第５号に基づき次のとおり提出します。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工事名 |  | 工事場所 |  |
| 注文機関名 |  | 注文担当者 |  |
| 連絡先 | ℡ |
| 当初計画書の受理日 |  | 担当者 |  |
| 同文書番号 |  | 連絡先 | ℡ |
| 変　更　の　内　容 |
| 変更前 | 変更後 |
| 変更の理由 |